

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立草加かがやき特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	新校の設立に際し定められた思いを踏まえて、目指す方向が示されている学校像である。学校の置かれた現在の状況や課題を的確に把握した上で、学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを生かした学校像になると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校が取り組むべき四つの柱として重点目標が設定されている。新校設立の準備段階から現在までの状況の変化などを、学校内外の環境分析からの的確に捉え、中期的視点で、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように整合性を持たせ、より重点化して具体性のあるものにするとともに、分掌・学部等で検討される方策等を再び学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価の運営体制について工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状・課題に基づき、「デュアルシステム型現場実習」の構築や、キャリア教育における各学部の「育てたい力」のまとめを始めるなど、評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状・課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	前年度の学校自己評価や学校関係者評価、アンケート結果などを活用している。前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしているが、分掌・学部等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			